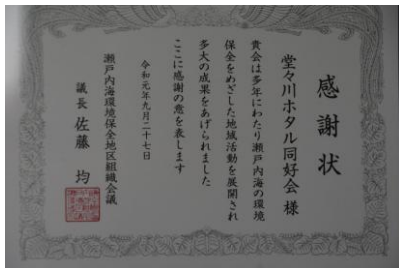


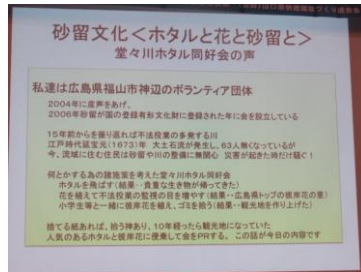
# 「自然・歴史・地域を守る砂留」

令和元年10月29日 堂々川ホタル同好会情報紙2019年度8号(創刊 178号)

1. 9月27日、瀬戸内海環境保全地区組織会議より令和元年度の感謝状を戴きに山口県新山口迄環境担当役員と参加させていただきました。瀬戸内の山口・広島・岡山・福岡各県より4チームの表彰。事例発表では、堂々川ホタル同好会は「どうどう」と発表し好評価だったとか。
2. 10月20日、水野勝成神辺城入城400年祭の史跡探訪バスツアー無料コースで堂々川担当者がガイドをしましたが、イベント無しの地味な砂留見学の人気はイマイチ。
3. 今年の彼岸花は前年に比べて1週間遅れで開花、10月2日が満開、延べ19万本開花、花色は24色です。我々管理のすべての砂留周辺に咲き、今回は裏面が彼岸花特集です。
4. 砂留整備・・・2番、3番、5番、6番等を有志が整備し、石積がはっきり見えるようにした。
5. 不法投棄・・・2日連続で黒80ℓポリ袋、両日各5袋。御領・中条に工場のある会社員？
6. フォトで見る活動



新山口にて感謝状授与式



事例報告 活動テーマ



多くの人が来訪



鳶が迫谷整備



5番砂留整備 草・木の除去



会員の高校生が書いたY新聞の記事



2番川原へ道路から5袋



翌朝4番砂留川原へ5袋



10月1日神辺小遠足来訪  
自然を学ぶ学習

## 8. 次回の定例会行事

○日時：令和元年11月17日(日) 8:30～ 集合 ごみ拾い

1番砂留東・2, 3, 4砂留の川原の草刈り・事故で折れた桜の補植

\*ホタルや花の堂々川情報はホタル同好会の推奨ブログ「自然を尋ねる人」に随時詳しく載せている。

ホームページのアドレス <http://hotarunokawa.web.fc2.com/>

ユーチューブで彼岸花の記事が見られます。ホタルのホームページを開いて、バナーをクリック

堂々川ホタル同好会 発行責任者 土肥 携帯 090-2865-3486



# 堂々川の彼岸花開花 広島県トップレベル達成記念号

2019年の彼岸花は前年より1週間遅く開花し、満開は10月2日でした。多くの方がまだかまだかと待ちわびました。開花時は超ビューティフルでした。

我々が造った彼岸花の里は2008年から植え始め、2010年からは近隣小学生が植栽を手伝い、環境学習をしました。昨年は9900球、今年は5700球を植え、今年の開花数19万本と広島県一、花色24色は日本一です。

ボランティアと小学生が不法投棄多発の川を観光地に変えました。堂々川国の登録有形文化財の砂留は第16回の

**広島県景観会議「景観づくり大賞最優秀賞」を受賞**しています。ちなみに県NO. 1吉舎の馬洗川は同じ賞を第12回に受賞され、花数30万本と言われていますが鹿害で2年続けて不調のようです。堂々川も猪害で苦戦しています。昨年は10頭、今年は3頭捕獲しました。



## 彼岸花の豆知識

大陸から稲作の伝来時に入ってきた説が有力な彼岸花、小動物のモグラやネズミそして鱗茎に毒を含むことから害虫駆除効果を期待して田圃の畔道等に植えられ赤い花を咲かせています。この花は3倍体で種子を作りません。彼岸花科で種子を作る種もあります。黄色の花ショウキズイセンは2倍体です。



彼岸花の呼び名は地域によって種々あり、日本では500を超えるそうです。曼殊沙華を始めとして、幽霊花、死人花、地獄花、狐花、剃刀花、天井花、蛇花、墓花等不吉、忌み嫌われる花の名が多いです。

一方では、めでたい兆しが出る花として花言葉には「情熱、独立、再会、想うはあなた一人」等多くあります。

又迷信もあります。

「彼岸花を持ち帰ると家が火事になる」

「彼岸花を摘むと手が腐る」

「彼岸花は元気を吸い取る」

花の特徴の一つとして

「花は葉を見ず、葉は花を見ず」ともいいます。

彼岸花の鱗茎にはリコリンなどアルカロイド系の毒をもちます。



毒は薬草としても使われています。生薬名「石蒜(セキサン)」と呼ばれ、水戸黄門の関与した書「救民妙薬」には生の鱗茎をすりおろして足の裏側に湿布すると膝に水がたまる対策や肩が痛いときの治療に使えるとあるそうです。

## 彼岸花の管理

彼岸花は9月の彼岸を中心に花が咲き、花が枯れると、葉が出てきて翌年の4月頃に葉は枯れる。

花の開花7月～11月初旬(堂々川の事例)。

葉が鱗茎へ養分を供給する時期11月～4月。

植え付け、移植時期 5月～8月。

葉のない時期、移植時期には草刈りを最低2回行う。

## 堂々川の彼岸花科は

タマスダレ、ナツヅイセン、彼岸花、白彼岸花

(リコリスアルビフローラ、リコリスピンク等)キツネノカミソリ、ダイヤモンドリリー、サフランモドキ他

